

氏名	山崎 さくら	学校名	栃木県立足利工業高等学校
担当教科等	外国語科（英語）	対象学年（人数）	3年 産業デザイン科（39名）
実践年月日もしくは期間（時数）		2021年11月（10時間）	

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：外国語科（英語）・コミュニケーション英語Ⅱ		
2. 単元（活動）名：All Aboard! Ⅱ Lesson9		
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ：「The Bitter Truth about the Chocolate」 単元目標：フェアトレードチョコレートに関する文章を読み、世界の児童労働問題について共感的に理解することができる。また、自分の関心のある食糧事情について、根拠を示しながら英語で説明することができる。 関連する学習指導要領上の目標： 「外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。」		
4. 単元の 評価規準	① 知識及び技能	・ フェアトレードチョコレートに関する文章を読み、内容を理解することができる。
	② 思考力、判断力、表現力等	・ 自分の関心のある食糧事情について、根拠を示しながら英語で説明することができる。
	③ 学びに向かう力、人間性等	・ 主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。 ・ 児童労働問題について共感的に理解し、活動に主体的に参加することができる。
5. 単元設定の理由・単元の意義（児童/生徒観、指導観）	<p>【単元設定の理由】</p> <p>本単元で扱うフェアトレードは児童労働問題を解決する手立ての一つである。SDGsの観点から考えると、1番目のゴールである「貧困をなくそう」をはじめ、多くのゴールに密接に関わっていることが分かる。生徒にもそのことを実感させ、学習後には自分たちの選択が世界を変えるきっかけとなることを認識させたいと考え、本単元を設定した。</p> <p>【単元の意義】</p> <p>本単元では、チョコレートの原材料であるカカオの生産と西アフリカにおける児童労働の現状を理解し、その1つの解決策であるフェアトレードシステムについて考える。単元の前半では、美しく甘いチョコレートがどのように作られているかを考えさせ、原材料のほとんどが西アフリカで生産されていることを学ぶ。また、JICAの国際理解教育実践資料集より引用したワークショップを実施し、カカオ豆の生産のために労働する西アフリカの子供たちが「負の連鎖」に置かれていることを理解させると同時に、自分自身の生活を振り返り、学ぶことの有り難さを再認識させたい。さらに、フェアトレードシステムが問題の解決にどのように貢献しているかを考え、自分たち消費者の選択が西アフリカの子供たちを救うことになると気づかせることをねらいとしている。単元の後半では、日本が輸入している食料について、根拠を示しながら相手に伝えるプレゼンテーション活動へとつなげていく。既習の単元で学習したプレゼンテーションの構成を思い出させながら、分かりやすいプレゼンテーションとは何かを意識させながら指導していきたい。ペアやグループで練習をする際には、声量やアイコンタクト、発音や流ちょうさを意識して、聞き手に配慮したプレゼンテーションをさせたい。</p> <p>【児童／生徒観】</p> <p>本校の生徒は6割以上が卒業後すぐに就職し、そのほとんどが製造業をはじめとする第一次産業に従事する。単元を通して世界の諸問題に触れることで、原材料の輸入先や取引の仕方について興味を持ってほしい。</p>	

	<p>【指導観】 先述したように、読解の時間には具体例を紹介したりワークショップを取り入れたりとすることで、児童労働問題への共感的な理解を支援する。また、適宜グループワークやペアワークを取り入れて、学び合いを促す。</p>
--	---

6. 単元計画（全 10 時間）				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1～7	Lesson9 読解	児童労働問題やフェアトレードについての英文を読み、内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の発音と意味を理解する。 ・ワークシートを使用しながら、本文の内容を理解する。 ・本文の音読をする。 ・本文に関する問題を解く。 	
8 本時	負の連鎖	負の連鎖とは何か理解し、児童労働問題を解決するために自分たちにできることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「文字が読めない」体験をさせる。 ・「負の連鎖」ワークショップを実施する。 ・学校に行けないことの問題と、その解決策や自分にできることを考える。 	国際理解教育実践資料集
9	SDGs との関わり	児童労働問題と SDGs との関連を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs カードのダイヤモンドランキングを実施する。 ・ 一番大切だと考えたゴールについて、タブレットを活用しながら自分にできることを考える。 	授業で使える SDGs カード
10	振り返り	単元の学習を振り返り、今後の学習や行動について目標を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りシートを使って、学習したことをレポート形式でまとめる自分の学習について、自己評価する。 	

7. 本時の展開（8 時間目）			
本時のねらい： 児童労働問題について共感的に理解し、活動に主体的に参加することができる。			
過程時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	Small Talk「好きなチョコレート」 例) A: What is your favorite chocolate snack? B: I like KitKat! A: That's nice! B: How about you?...	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会話が進まないペアに声をかける。 	
展開 1 (10分)	<p>「文字が読めない・・・？」</p> <p>【一回目】 瓶に貼られたトルコ語の注意書き</p> <p>【二回目】 扉に貼られたアラビア語の看板 これらを見て、自分がどれを選ぶか決める。</p> <p>【二回目】 の選択肢</p> <p>① 実験室の扉「毒ガス注意」</p> <p>② 病院の扉「危険区域」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字が読めない状況やそのときの感情を言語化させる。 	

<p>展開2 (15分)</p> <p>展開3 (15分)</p> <p>まとめ (5分)</p>	<p>③ 工場の扉「入ったら死ぬ」 →どれを選んでも危険 文字が読めないことで、危険を予知することができなくなったり、反対に自分の利益を棒に振ったりすることを理解させる。</p> <p>「負の連鎖ワーク」</p> <p>① グループごとに15枚のカードを使用して、「学校に行けない」ことから派生してどんなことが起こるか考える。</p> <p>② 他のグループの考えを見て、並べ方が異なることに気づかせる。</p> <p>③ 全体で1グループの考えを共有する。</p> <p>④ カードが「連鎖」になっていることに気づかせる。</p> <p>「連鎖から抜け出すために・・・！」</p> <p>① 連鎖から抜け出すために「自分」「日本政府」「現地の人」の視点でどんな取り組みができるか書き出す。</p> <p>② グループで共有する。</p> <p>③ 良いと思った取り組みはメモする。</p> <p>「振り返り」</p> <p>① 授業を振り返り、自分の意識や気持ちの変化を言葉にする。</p> <p>② 全体で共有する。</p>		<p>JICA 国際理解教育 実践資料集 ワークシート① 【資料1】</p> <p>ワークシート② 【資料2】</p>
--	--	--	---

8. 評価規準に基づく本時の評価方法

○評価規準：【主体的に学びに向かう力】

児童労働問題について共感的に理解し、活動に主体的に参加することができる。

○評価基準：

A：活動に主体的に参加することができ、さらに自分の行動を変えようと決意することができた。

B：活動に主体的に参加することができた。

C：活動に主体的に参加することができなかった。

○評価方法：

- ・ 机間指導等による教員の見取り
- ・ ワークシートへの記入

9. 学習方法及び外部との連携

単元を通して、毎時に一回以上グループワークやペアワークを取り入れ、協働の姿勢を身につけさせるよう工夫した。感染症予防の観点から、外部との連携を積極的に取り入れることは難しかったが、今後状況が落ち着けば、同様の活動をする際には、製菓会社の方や地元の方をお招きし、講話をいただくことを検討したい。

10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

- ・ 校内の全職員を対象として、SDGsや多文化共生に関する研修を実施した。教師国内研修で体験したことをもとにワークショップを行った。
- ・ 教職2年目研修において、教師国内研修で体験したことを共有した。

【自己評価】

<p>11. 苦労した点</p>	<p>○生徒に当事者意識を持たせること フェアトレードチョコレートに関して、教科書の本文を読んだ段階では「子どもがかわいそうだと思った」のような、他人事としてとらえるようなまとめ記述が多く見られた。授業の後半に行ったワークショップを通して、「自分の選択がガーナの人々の人生を左右していることを知った」など、自分に関するまとめ記述ができる生徒が増えた。</p>
------------------	---

12. 改善点	○学年で連携すること 今回は、授業者が担当しているクラスでのみ実践を行ったため、進度が合わなかった。次年度以降同様の活動をする場合には、学年全体で取り組めるよう工夫したい。												
13. 成果が出た点	○生徒の変容 先述したように、児童労働問題に対して当事者意識を持たせることができた。また、今後の生活について見直したい、自分の行動を変えたいという声を聞くことができた。												
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>生徒 A</p> <p style="text-align: center;">Let's think</p> <p>STEP1 「文字が読めない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどのように感じましたか？</p> <p>くろく「なまで」... くやい刺繍が！ 危険なほど暑いあつても読まぬがさなくて怖い。</p> <p>STEP2 「学校へ行けない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどのように感じましたか？</p> <p>仕事に就けず、お金もなく食料が買えず、病気になって... ... いう実情環境になる。</p> <p>STEP3 アイディアを出してみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"> 自分の立場 暑さ、ボロボロの布地、 取り組むし、 フェアトレードを買う。 </td> <td style="width: 33%;"> 日本政府の立場 ・食料、資金援助 </td> <td style="width: 33%;"> 現地の人の立場 ・簡易的な学校を建て、 ・新しい事業を立ち上げる ・お金をためる ・世界に訴える </td> </tr> </table> <p>STEP4 自分の気持ちはどう変化しましたか？</p> <p>これは、学校に行けないうちがひどい。おかしな。でも、これに 考えているだけじゃ、学びの環境がないけど、仕事ができるわけ ない。貧困や病気になっていこうことを、もっと真剣に考えて、自分が できることをやらせたいと思った。</p> <p>STEP5 自己評価をしましょう。</p> <p>A-活動に主体的に参加し、自分の行動を変えようとする決意することができた。 B-活動に主体的に参加することができた。 C-活動に主体的に参加できなかった。</p> <p style="text-align: right;">自己評価 A</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>生徒 B</p> <p style="text-align: center;">Let's think</p> <p>STEP1 「文字が読めない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどのように感じましたか？</p> <p>ワウワレト 寒しげなレト</p> <p>STEP2 「学校へ行けない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどのように感じましたか？</p> <p>自分も子ども学校に行けなくて、お母も学校に行けなくて、お父も学校に入らな</p> <p>STEP3 アイディアを出してみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"> 自分の立場 暑さ、ボロボロの布地、 取り組むし、 フェアトレードを買う。 </td> <td style="width: 33%;"> 日本政府の立場 子ども学校を建て、 食料、資金援助 </td> <td style="width: 33%;"> 現地の人の立場 世界に訴える、 新しい事業を立ち上げる。 </td> </tr> </table> <p>STEP4 自分の気持ちはどう変化しましたか？</p> <p>フェアトレードを探して、お金のことが、 フェアトレードは、お金の人が、お金のことを、 感じることが、 ...</p> <p>STEP5 自己評価をしましょう。</p> <p>A-活動に主体的に参加し、自分の行動を変えようとする決意することができた。 B-活動に主体的に参加することができた。 C-活動に主体的に参加できなかった。</p> <p style="text-align: right;">自己評価 A</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>生徒 C</p> <p style="text-align: center;">Let's think</p> <p>STEP1 「文字が読めない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどのように感じましたか？</p> <p>お母さん、お父さん、危険区域に入りました。 → せいで</p> <p>STEP2 「学校へ行けない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどのように感じましたか？</p> <p>読み書きができていないので、いじめに遭って、お母さん、お父さんが、お金のことが、お金の人が、お金のことを、 ...</p> <p>STEP3 アイディアを出してみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"> 自分の立場 フェアトレード、 フェアトレードを買う。 </td> <td style="width: 33%;"> 日本政府の立場 ・経済的支援 フェアトレード ・NGO、NPOに寄付 </td> <td style="width: 33%;"> 現地の人の立場 ・子供を学校に通わせる (義務教育) </td> </tr> </table> <p>STEP4 自分の気持ちはどう変化しましたか？</p> <p>お金のことが、お金の人が、お金のことを、 フェアトレード、フェアトレード、フェアトレード、 ...</p> <p>STEP5 自己評価をしましょう。</p> <p>A-活動に主体的に参加し、自分の行動を変えようとする決意することができた。 B-活動に主体的に参加することができた。 C-活動に主体的に参加できなかった。</p> <p style="text-align: right;">自己評価 A</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>生徒 D</p> <p style="text-align: center;">Let's think</p> <p>STEP1 「文字が読めない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどのように感じましたか？</p> <p>お母さん、お父さん、危険区域に入りました。 → せいで</p> <p>STEP2 「学校へ行けない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどのように感じましたか？</p> <p>読み書きができていないので、いじめに遭って、お母さん、お父さんが、お金のことが、お金の人が、お金のことを、 ...</p> <p>STEP3 アイディアを出してみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"> 自分の立場 フェアトレード、 フェアトレードを買う。 </td> <td style="width: 33%;"> 日本政府の立場 ・経済的支援 フェアトレード ・NGO、NPOに寄付 </td> <td style="width: 33%;"> 現地の人の立場 ・子供を学校に通わせる (義務教育) </td> </tr> </table> <p>STEP4 自分の気持ちはどう変化しましたか？</p> <p>お金のことが、お金の人が、お金のことを、 フェアトレード、フェアトレード、フェアトレード、 ...</p> <p>STEP5 自己評価をしましょう。</p> <p>A-活動に主体的に参加し、自分の行動を変えようとする決意することができた。 B-活動に主体的に参加することができた。 C-活動に主体的に参加できなかった。</p> <p style="text-align: right;">自己評価 A</p> </div> </div>	自分の立場 暑さ、ボロボロの布地、 取り組むし、 フェアトレードを買う。	日本政府の立場 ・食料、資金援助	現地の人の立場 ・簡易的な学校を建て、 ・新しい事業を立ち上げる ・お金をためる ・世界に訴える	自分の立場 暑さ、ボロボロの布地、 取り組むし、 フェアトレードを買う。	日本政府の立場 子ども学校を建て、 食料、資金援助	現地の人の立場 世界に訴える、 新しい事業を立ち上げる。	自分の立場 フェアトレード、 フェアトレードを買う。	日本政府の立場 ・経済的支援 フェアトレード ・NGO、NPOに寄付	現地の人の立場 ・子供を学校に通わせる (義務教育)	自分の立場 フェアトレード、 フェアトレードを買う。	日本政府の立場 ・経済的支援 フェアトレード ・NGO、NPOに寄付	現地の人の立場 ・子供を学校に通わせる (義務教育)
自分の立場 暑さ、ボロボロの布地、 取り組むし、 フェアトレードを買う。	日本政府の立場 ・食料、資金援助	現地の人の立場 ・簡易的な学校を建て、 ・新しい事業を立ち上げる ・お金をためる ・世界に訴える											
自分の立場 暑さ、ボロボロの布地、 取り組むし、 フェアトレードを買う。	日本政府の立場 子ども学校を建て、 食料、資金援助	現地の人の立場 世界に訴える、 新しい事業を立ち上げる。											
自分の立場 フェアトレード、 フェアトレードを買う。	日本政府の立場 ・経済的支援 フェアトレード ・NGO、NPOに寄付	現地の人の立場 ・子供を学校に通わせる (義務教育)											
自分の立場 フェアトレード、 フェアトレードを買う。	日本政府の立場 ・経済的支援 フェアトレード ・NGO、NPOに寄付	現地の人の立場 ・子供を学校に通わせる (義務教育)											
15. 授業者による自由記述	教師国内研修では、さまざまな分野において、さまざまなアプローチで、これまでになかった視点や知ることのなかった知識・体験を得ることができた。これを生徒や同僚の教員に還元していきたい。また、今後も SDGs や多文化共生について、自分の見識を広げるとともに、学校内外を問わず活動を広げていきたい。												

参考資料：
 ・『「生きる力」を育む国際理解教育実践資料集』JICA 地球ひろば

添付資料：【資料1】ワークシート①

前後が「因果関係」になるように、カードを並べてみよう！

【資料2】ワークシート②

Let's think

STEP1 「文字が続かない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどう感じましたか？

STEP2 「学校へ行けない」ことで、どんなことが起こりましたか？あなたはどう感じましたか？

STEP3 アイディアを出してみましょう。

自分の立場	日本政府の立場	現地の人々の立場
-------	---------	----------

STEP4 自分の気持ちはどう変化しましたか？

STEP5 自己評価をしましょう。

A…活動に主体的に参加し、自分の行動を変えようと決意することができた。

B…活動に主体的に参加することができた。

C…活動に主体的に参加できなかった。

自己評価

クラス _____ 番号 _____ 名前 _____